

## 動物看護学 対面学習第2回 確認テスト

問題1:動物看護過程の展開として正しいのはどれか。

- ① アセスメント→動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→反省
- ② アセスメント→評価→個別の動物看護計画作成→動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)
- ③ 動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)→アセスメント→動物看護計画の作成→反省
- ④ アセスメント→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護計画の作成→動物看護の実践→評価
- ⑤ 動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→アセスメント→評価

問題2:動物看護師の役割として正しいのはどれか。

- ① 病気にあった療法食を選び出し、処方とアドバイスをする。
- ② 飼い主の主訴に基づいて診断をする。
- ③ 動物看護師として働いて長いので、治療をしてもよい。
- ④ 動物の健康指導のアドバイスをする。
- ⑤ フードや薬品の賞味期限、使用期限管理は動物看護師の仕事ではない。

問題3:看護計画の立案について間違っているものはどれか。

- ① 看護目的が達成できるように、看護介入を具体的に計画する。
- ② 対象に援助するための、具体的な看護行為を記述する。
- ③ 一般的な援助方法の中から実行可能で、効果的な看護行為を選択する。
- ④ 動物看護師の都合を優先し立案する。
- ⑤ 動物看護師のすべてが看護計画を見て、同じ方法で援助を行うことができるように記述する。

問題4:看護記録に記入する客観的データーについて正しいのはどれか。

- ① 担当獣医師の診断。
- ② 飼い主が動物の様子について訴えたこと。
- ③ 主観的データーをもとに判断したこと。
- ④ 身体検査や生化学的検査の結果得られたデーター。
- ⑤ 飼い主の訴えに対し自分が考えたこと。

\* 出問参考図書:動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5(ファームプレス社)  
動物看護師統一認定試験対策過去問題集 (インターズー)

## 動物看護学 対面学習第2回 確認テスト 正答

問題1: 動物看護過程の展開として正しいのはどれか。

- ① アセスメント→動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→反省
- ② アセスメント→評価→個別の動物看護計画作成→動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)
- ③ 動物看護の実践→問題点の抽出(動物看護診断)→アセスメント→動物看護計画の作成→反省
- ④ アセスメント→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護計画の作成→動物看護の実践→評価
- ⑤ 動物看護計画の作成→問題点の抽出(動物看護診断)→動物看護の実践→アセスメント→評価

問題2: 動物看護師の役割として正しいのはどれか。

- ① 病気にあった療法食を選び出し、処方とアドバイスをする。
- ② 飼い主の主訴に基づいて診断をする。
- ③ 動物看護師として働いて長いので、治療をしてもよい。
- ④ 動物の健康指導のアドバイスをする。
- ⑤ フードや薬品の賞味期限、使用期限管理は動物看護師の仕事ではない。

問題3: 看護計画の立案について間違っているものはどれか。

- ① 看護目的が達成できるように、看護介入を具体的に計画する。
- ② 対象に援助するための、具体的な看護行為を記述する。
- ③ 一般的な援助方法の中から実行可能で、効果的な看護行為を選択する。
- ④ 動物看護師の都合を優先し立案する。
- ⑤ 動物看護師のすべてが看護計画を見て、同じ方法で援助を行うことができるように記述する。

問題4: 看護記録に記入する客観的データについて正しいのはどれか。

- ① 担当獣医師の診断。
- ② 飼い主が動物の様子について訴えたこと。
- ③ 主観的データをもとに判断したこと。
- ④ 身体検査や生化学的検査の結果得られたデータ。
- ⑤ 飼い主の訴えに対し自分が考えたこと。

\* 出問参考図書: 動物看護コアテキスト 動物看護の基礎 5(ファームプレス社)  
動物看護師統一認定試験対策過去問題集 (インターズー)